

清流 2月

発行：浜松市下阿多古ふれあいセンター 編集協力：下阿多古ふれあいセンター活動推進委員会
〒431-3427 浜松市天竜区上野172番地の3 TEL 053-926-3141

	世帯数	前月比	人口	前月比
浜松市	360,312	-104	778,346	-537
天竜区	11,707	-31	24,283	-67
下阿多古	1,265	0	2,356	-3
詳細は 浜松市統計 検索				

力強い今年の干支「午」が出来ました

12月10日(水)、寿学級では、坪井道男さんを講師に迎え、「切り絵教室」を開催しました。細い線や、細かな点に注意して切り抜く作業に3時間。新年を飾る見事な切り絵が完成しました。



プレゼントをもらったよ！

「ひよこ」さんのクリスマス



(12月11日)

「あゆっこ」さんのクリスマス



(12月22日)

自然の材料を使って
見事な「しめ飾り」が完成

12月28日(日)、市川敏夫さんと河合治助さんを講師に迎え、「しめ飾り教室」を開催しました。左縄に藁(わら)をない、裏白、紙垂(しで)、橙を付けて立派なしめ飾りが完成しました。



世代間交流輪投げ大会



12月13日(土)、下阿多古地区社会福祉協議会主催の輪投げ大会が下阿多古小学校体育館で開催されました。世代間交流と明るい地域づくりを目的に、毎年開催されています。

結果は次のとおりです。

(敬称略)

【男子の部】

優勝 市里侑士(両島 小2)
準優勝 武田 理(上野)
3位 石田敏彦(緑恵台)

【女子の部】

梅林那帆(上野 5才)
梅林希帆(上野 小2)
伊藤いず美(両島)

遠投賞 野沢和好(両島) 渥美みさ子(上野)
前沢梨心(緑恵台 小2)

かわいいクッキーができました！

12月20日(土)、冬の子ども講座では、田中淳代さんを講師に迎え、「作って楽しい食べておいしいアイシングクッキー講座」を開催しました。

子どもたちは、お手本を見た後、雪だるまとツリー型のクッキーに、アイシングクリーム(砂糖を溶かして着色したもの)で可愛くデコレーションしました。クリーム絞り加減が難しかったようですが、可愛いサンタ雪だるまが出来上がりました。

講師から「とても上手にできたね。」と言われ、皆、うれしそうに抱えて帰りました。



肩こり改善！

体の歪みを整え、痛みや不調を改善する「ゆらぎ体操」を加えた「寝ころびくす講座(全4回)」が、1月9日(金)、最終回を迎えました。参加者からは、「肩こりが楽になった。」との声も聞かれました。これからも、ご自宅で続けていただけるといいですね。



内山真龍資料館からのお知らせ

常設展 真龍の生涯

名主として村の発展に尽くすとともに、遠州地方の国学研究の中心的存在となっていた真龍の82年の生涯を辿ります。

【期 日】 ～3月8日(日)まで

【開館時間】 9時～17時

【場 所】 内山真龍資料館

【休 館 日】 月・火曜日、祝日(2月11日)

同時展示 ～写真で振り返る「天竜の懐かしい学校」～

◆現在ある小・中学校が木造校舎だった頃の写真

◆廃校になった小・中学校の写真 など

【お問合せ】 内山真龍資料館

浜松市天竜区大谷568番地 ☎053-925-4832

観覧無料

令和8年度(令和7年分)
市民税・県民税の申告相談

【会 場】 天竜区役所 2階 会議室

【期 間】 2月16日(月)～3月16日(月)

【受付時間】 9時～11時、13時～16時

一人暮らしの高齢者へ、豪華弁当をお届け

下阿多古地区社会福祉協議会は、1月11日(日)に、一人暮らしの高齢者へ、お正月の特別弁当を無料でお届けしました。これは市社会福祉協議会の歳末事業として行ったもので、調理は毎月給食サービスを行っている「ふるさと会」が腕をふるいました。

メニューは、ぶりの照り焼き、有頭海老(ゆうとうえび)の旨煮等、豪華で華やかなお弁当でした。

出来上がったお弁当は、すぐに利用者に届けられ、とても喜ばれました。



半年後が楽しみです！

1月19日(月)、鶴田志穂美さんを講師に迎え、「味噌づくり教室」を開催しました。ゆでた大豆と麴と塩をムラなく混ぜるのが大事なポイントです。家族のために愛情も入れて、半年後には、おいしいお味噌が出来上がります。



浜名湖ガーデンパーク

みどころ花ごよみ

☆クリスマスローズ

1月中旬～3月ごろ

☆蠟梅(ろうばい)

1月中旬～2月ごろ

☆梅

2月上旬～3月上旬

☆水仙

2月中旬～3月ごろ

春の妖精 雪割草展

会場内ではユキワリソウの苗の即売会も行います。

【日時】

2月20日(金)～22日(日)

8:30～17:00

※2月22日は15:00まで

今年おはまめにくらすと習わしの
黒豆はまめにくらすと習わしの
手もみ作業は市田柿風
流柿に「甘くなーれ」と声を掛け
松本和子

坪井良子

夕暮れの窓辺に小猿のぞきいて
びつくり仰天目と目が合いて
小林勝子

二橋かほる

年の瀬に掃除の手をおき外を見れば
しとしと雨に目を休めおり
水野哥那子

眉月を仰ぎてはつと邪気払う
ひそかに香る庭の臘梅

清流歌壇

